

2012年5月

このたび「NHK邦楽技能者育成会同窓会」が設立されました。設立準備委員会からはじまり発起人会、世話人会を経て、昨年設立総会后、設立理事会が立ち上がりました。そして初の同窓会会員による役員選挙が行われた結果、下記にあります通り正式に組織体制が発足しました。ここまで辿り着いたのも、ひとえにご協力いただいた会員の方々を始めとする多くの皆様のお力添えの賜物であります。本年5月29日に開催される正式な組織体制後、初の総会を前に同窓会会報第0号として皆様に情報発信を開始させていただきます。今後、様々な事業やイベントが計画され、また実施に移されていくと思われまふ。本会報を通じてそれらの告知や報告を行い、また紙面を通じての交流や研究成果の発表の場としても活用して行きたいと思っております。記事の投稿、寄稿がありましたら同窓会会報編集局までお寄せください。皆様ひとり一人の声が会報をつくり上げていきます。

設立理事会役員一同

NHK邦楽技能者育成会同窓会役員選挙公報

平成24年2月6日公示、同20日立候補締切のNHK邦楽技能者育成会同窓会役員選挙について、理事・監事ともに立候補者数が役員定数範囲内なので、それぞれの立候補者は無投票当選となりました。

以下、理事等役員当選者

- 1, 理事： 後藤すみ子・杵屋静子・山戸朋盟・古屋輝夫・三橋貴風・米川敏子
川村泰山・菅原久仁義・田辺洌山・坂田梁山・石川利光・山口賢治
原郷界山・田中奈央一（卒業期順）
- 2, 特別会員理事： 秋岸寛久・今井重幸・菅野由弘・藤本草・柳沢新治（50音順）
- 3, 監事： 山川園松・森田柊山（卒業期順）

平成24年2月21日 選挙管理委員会委員長 秦瓢山（22期）

※尚 新理事、監事（第1期）は5月29日の総会の議決で正式に選任されます。

【設立理事長ご挨拶】

杵屋静子



一昨年3月のNHK邦楽技能者育成会第55期卒業と育成会終了の最後の演奏会は私にはとてもつらい思いでした。終演後のパーティーで「このまま終わらせないで！」とNHKディレクターOB、講師の先生、旧友の方々に哀願いたしました。そして一ヶ月後の4月から会合を重ねて今日に到りました。それはそれは皆様情熱を持って行動されて下さり感動いたして居ります。早くも来年3月9日にコンサートを開催することになり一つの形が見え、これからは入会をして下さる方々がいらっしやると期待して居ります。そして重ねてゆくことが何より大切と存じます。現代邦楽を豊にする友人の皆様のご参加を心よりお待ち申して居ります。

【新役員紹介】

◆理事（卒業期順）

後藤すみ子（ゴトウ スミコ／2期／箏曲）

1954年東京芸術大学卒業、1957年邦楽4人の会を結成。邦楽器による現代音楽の創作を促し、現代邦楽の先駆者の役割を果たした。育成会51期より5年間講師を務めた。理想である育成会の再起と音楽活動の推進のバックアップをしたいと思っております。

杵屋静子（キネヤ シズコ／5期／長唄／本名：鈴木静子）

1935年東京生まれ。長唄唄方故坂田仙蔵の次女。1953年長唄杵勝会甲種試験合格芸名取得。1971年芸術祭優秀賞受賞。1972年第1回リサイタル。1999年第10回リサイタル。2000年自主連続ライブコンサートスタート。本年52回を開催。二十才そこそこで父から「着るものにお金をかけたら道具にかまえない」の一言から厳しく先生方に教えを受ける事が出来ました。チャンスを頂きました。それを若い方々にお渡し致したい。

山戸朋盟（ヤマト ホウメイ／14期／尺八／本名：山戸竹男）

私は昭和42年に、「学生三曲連盟」主催の『新曲（現代邦楽のこと）講座』の実行委員として働き、「邦楽四人の会」その他の諸先生の多大の厚意で成功に導きました。今回そのプログラムを探し出して読んでみると、現在に至る現代邦楽の歴史との浅からぬ因縁を感じます。今、私は社会的に非常に自由な身になり、諸先生方への感謝と現代邦楽への愛着を何らかの形で実現出来るなら、是非下働きでもさせて頂きたいと思っています。

古屋輝夫（フルヤ テルオ／16期／尺八）

1969年～2010年横山勝也氏に師事。リサイタルを数十回開催。各種数多の録音に参加。尺八古典本曲の研究・作譜。合理的な尺八吹奏法。CD「尺八酔奏」「莞絃秘抄」。国際尺八研修館主任講師として1994年から始まった全ての国際尺八フェスティバルを企画段階からサポート及び客演。NHK文化センター講師。東京竹心会主宰。何がしかの役に立ちたいとは希っているのですが実際のところ若き知恵と力に感嘆しているだけの有様です。

三橋貴風（ミツハシ キフウ／17期／尺八／本名：三橋保源）

尺八琴古流を佐々木操風氏、普化尺八古典本曲を岡本竹外氏に師事。芸術祭優秀賞（'80）、大阪文化祭奨励賞（'81）、芸術祭賞（'89）、芸樹作品賞（'92）、芸術祭大賞（'09）、芸術選奨（'10）、横浜文化賞（'10）、紫綬褒章（'11）。琴古流大師範。琴古流尺八貴風会主宰。未来に向けて大きな可能性のあるこの団体の為に、現在までの現場に於けるノウハウを少しでもお役に立てられれば、と思っております。

米川敏子（ヨネカワ トシコ／18期／箏曲／本名：米川裕枝）

1950年東京に生まれる。祖父琴翁、母初代敏子に師事。文化庁芸術祭優秀賞、エクソンモービル音楽賞、芸術選奨文部科学大臣賞、紫綬褒章他受賞。現在、研箏会五代目家元、(公社)日本三曲協会常任理事、生田流協会理事、創邦21理事長、NPO大来記念日本音楽国際交流会理事、現代邦楽作曲家連盟監事、作陽大学特任教授他を務める。NHK邦楽技能者育成会の長い歴史を、これからの邦楽界発展の為に大いに役立てる必要があると思います。皆様と共に頑張ります。

川村泰山（カワムラ タイザン／20期／尺八／本名：川村洋一）

都山流尺八を山本邦山（人間国宝）に師事。同志社大卒。正派音楽院楽理科卒。都山流尺八コンクール第1位文部大臣賞。文化庁芸術祭賞。元NHK邦楽技能者育成会講師。東京芸術大学講師。NPO日本音楽国際交流会理事。現代邦楽作曲家連盟理事。むつのを音楽監督。同窓会設立準備会委員として、また設立理事としてかかわってまいりましたが、今後も卒業生の育成会に寄せる思いを集約し、邦楽の将来に寄与する団体として成長するため微力を尽くしたいと思います。

菅原久仁義（スガワラ クニヨシ／22期／尺八）

12才から尺八を始め、都山流、琴古流を経て横山勝也氏に師事。北海道三曲コンクール、全日本三曲コンクール第1位。呼吸法や吹奏法の解明、研究に力を注ぎ流派を越えて尺八教則本、教則DVD制作など尺八普及に注力。

本同窓会設立世話人会責任者として関わって参りました。親睦団体であると同時に新しい形の

音楽団体として今までの邦楽界には無い魅力的な会に発展していくように発案、努力したいと思います。

田辺洌山 (タナベ レツザン / 25期 / 尺八 / 本名: 田辺博行)

中央大学哲学科卒業 / 山本邦山師(人間国宝)に師事 / リサイタル・海外公演・参加アルバムも多い / 『色彩の間』『風姿有韻』『日本の“音遊び…”』『水の音原風景』などプロデュース公演も多く、演奏・指導の活動を続けている / 都山流尺八楽会・日本三曲協会・山本邦山尺八合奏団所属。育成会卒業生として何が伝えられて何が出来るのかを考えながら、また諸先輩方と若い世代の方々との繋ぎ役になれるよう、運営に参加して行きたいと思っております。

坂田梁山 (サカタ リョウザン / 30期 / 尺八 / 本名: 坂田雅一)

85年、NHK邦楽技能者育成会卒業。第13回都山流尺八本曲コンクールで金賞・文部大臣賞受賞。海外公演、CD録音、劇団四季のミュージカル出演、TV・ラジオ出演多数。また自己のバンド「ニュートラル」を結成、活動中。都山流尺八大師範。桐朋学園芸術短期大学日本音楽尺八科非常勤講師。微力ながら少しでもお役に立てるように精一杯努めさせていただきますので、どうかよろしくお願い致します。

石川利光 (イシカワ トシミツ / 37期 / 尺八)

琴古流尺八および古典本曲を横山勝也に師事。国際尺八研修館常任講師、石の会主宰、大阪邦楽ソリスト代表。神戸市在住。中央と地方在住会員の橋渡しのような仕事が出来れば、と考えております。よろしく願いいたします。

山口賢治 (ヤマグチ ケンジ / 39期 / 尺八)

東京都出身。1967年生まれ。現代邦楽研究所研究科卒。現在、洗足学園音楽大学現代邦楽コース講師、同大学附属機関現代邦楽研究所主任・講師。邦楽創造集団オーJ団員。同窓会活動を通じて何かが産み出せればとの思いで頑張ります。よろしくお願い致します。

原郷界山 (ハラゴウ カイザン / 44期 / 尺八 / 原郷隆)

都山流尺八楽会大師範。日本音楽集団所属。伝統ある育成会の卒業生の一員として、同窓会のお手伝いが出来ればと思っております。よろしく願いいたします。

田中奈央一 (タナカ ナオイチ / 50 / 箏曲)

6歳より河内百合能師に山田流箏曲の手ほどきを受ける。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業後、六世家元 中能島弘子師の直門となり「奈央一」の芸号を許される。同大学院修士課程修了。文化庁新進芸術家国内研修員修了。箏曲以外にも長唄三味線や江戸小唄、ボイストレーニング等を学び、古典箏曲から現代音楽まで幅広い演奏活動を行っている。都立三田高校・王子総合高校 音楽教科 箏曲講師。NHK文化センター柏教室講師。甚だ弱輩の身でございますが、会の発展の為に責務を全うしたいと存じます。

◆特別会員理事 (あいうえお順)

秋岸寛久 (アキギシ ヒロヒサ)

助川敏弥、浦田健次郎、三木稔の各氏に師事。東京音楽大学卒業、同大学研究科を修了。日本音楽集団団員。日本フィル九州公演、横浜国大グリークラブ、オーストラリア、シュライニング音楽祭、オーケストラ・アジアなどからの委嘱や、市川猿之助スーパー歌舞伎の音楽、NHK伝統和楽団の編曲等を手がける。お役に立てることがあるのかどうかわかりませんが、よろしくお願い致します。

今井重幸 (イマイ シゲユキ)

作曲家・舞台構成演出家、伊福部昭とEdgar Varèseに師事、元・東京造形大学&日本大学生産工学部講師、主要邦楽作品・二十絃箏とヴィオラの為の農楽舞(吉村七重・1990年)、横笛と箏合奏の青峰悠映、協奏的変容・傀儡曼茶羅 [クグツマンダラ] (日本音楽集団)、日本古謡に基づく三つの協奏的変容、斜箭提揚・悠久の舞 (NHK育成会卒業)、二本の尺八の父子箏 [フシヂ]、二十五絃箏とオーケストラの協奏的変容、「草迷宮」のイメージに拠る「詩的断章」。

菅野由弘 (カンノ ヨシヒロ)

東京藝術大学大学院作曲専攻修了。洋楽、日本の伝統音楽、電子音楽を三本柱として作曲活動を行う。主要作品は、国立劇場45周年記念新作声明「十牛図」、NHK委嘱のオーケストラ、能管、笙のための「蜘蛛」、電子音楽「風の都市」、NHK大河ドラマ「炎立つ」など。2012年、日本芸術文化財団・創造する伝統賞受賞。現在、早稲田大学教授。NHK邦楽技能者育成会という名の下に研鑽を積み、邦楽の水準を高め、維持することに貢献しうる同窓生の会が生まれたことは、大変喜ばしいことであり、貴重な活動です。同じ日本の音楽を創る仲間として、多少のお手伝いが出来れば、と思う次第です。

藤本草 (フジモト ソウ)

1950年、東京都出身。青山学院大学経営学部卒業。76年、日本ビクター株式会社入社。日本の伝統音楽、海外の民族音楽、クラシック音楽を専門分野として、これまで1000タイトルを超える音楽・映像作品を制作。2003年より、公益財団法人日本伝統文化振興財団理事長。現在、公益財団法人全国税理士共栄会文化財団理事、一般財団法人合唱音楽振興会理事、東京都文化発信プロジェクト委員、歴史的音盤アーカイブ推進協議会副代表幹事。東京・邦楽コンクール審査委員長、賢順記念全国箏曲コンクール審査委員等を歴任。

柳沢新治 (ヤナギサワ シンジ)

NHKディレクターとして、長く古典芸能・邦楽番組を担当。育成会との関係は8期からと記憶する。25期の卒業演奏会を企画、放送。その後は能楽の担当が長く、退職後は豊田市能楽堂で企画、制作にあたった。現在、能楽ジャーナリストとして執筆・解説など。育成会同窓会の活動について、伝統芸能が危機にあるいま、手伝えることがあれば幸い。

◆監事

山川園松 (ヤマカワ エンショウ / 15期 / 箏曲 / 本名：山川美和子)

山田流箏曲を父初代山川園松より学ぶ。山田流箏曲を中能島欣一師事。地唄三絃を初代富山清琴師事。昭和60年山田流箏曲山川派家元継承。箏曲春和会会長。(公益)日本三曲協会理事。山田流箏曲協会監事。目黒区邦楽連盟会長。実践女子学園、田園調布学園各箏曲部講師。

伝統音楽普及を目指す専門家として活気ある活動を進めて行こうと思う。

森田柁山 (モリタ シュウザン / 19期 / 尺八 / 本名：森田孝昭)

都山流尺八を二代北原篁山に師事。公財・都山流尺八楽会常務理事。公社・日本三曲協会監事。卒業生の皆様の育成会への「熱い想い」に支えられて、一昨年の同窓会設立準備委員から設立理事まで、同窓会設立の一端を担わせていただきました。今期は監事として少しでもお役に立てればと思っております。

【第1期評議員】

設立理事と同様に任期は24年5月の総会までですが、下記の皆様は引き続き第1期評議員にご就任の内諾をいただいております。原則各期より1名をお願いしております。まだ評議員が選出されていない期について立候補があれば、自薦、他薦を問わず評議員会議長、設楽瞬山(38期)、または事務局までお知らせください。

期	種目	担当評議員
3	箏曲	菊地 悌子
5	長唄	稀音家六登紀次
6	長唄	杵屋勝真代
8	山田	小林富美代
12	箏曲	伊藤厚勢
13	箏曲	田辺園由香
14	箏曲	福永 千恵子
14	箏曲	福森 文子
15	箏曲	井上雅楽千都
16	箏曲	本荘洋子
17	箏曲	春原香代子
19	箏曲	小野 正志
21	箏曲	石垣 清美
22	尺八	野村峰山

期	種目	担当評議員
23	尺八	吉岡 龍見
24	箏曲	沢田 真余
25	尺八	曾我哲山
26	箏曲	石川 憲弘
27	尺八	田辺頌山
28	三絃	田中 悠美子
29	琵琶	坂田 美子
30	箏曲	山田明美
32	尺八	山口連山
33	箏曲	福田 栄香
37	尺八	米谷和修
38	尺八	設楽瞬山
40	箏曲	金田 智子

期	種目	担当評議員
42	箏曲	黒川 真理
43	箏曲	高橋 裕恵
48	箏曲	森 詩歩
49	箏曲	増川 彩子
50	箏曲	今 英里
51	三絃	松村 智子
52	箏曲	宇佐見 明子
52	箏曲	佐々井 麻矢
53	箏曲	岩本 迪子
53	尺八	木村 大輔
53	尺八	松本 宏平
54	箏曲	福本 礼美
55	箏曲	井上 美和

【NHK邦楽技能者育成会同窓会・第1回演奏会 <開催決定!!> 平成25年3月9日(土)】

初めての大きな活動ともいえる催しとして、「現代邦楽の軌跡—NHK邦楽技能者育成会の歴史と共に—」（仮題）と題する演奏会を以下のように企画いたしました。総会にてご審議いただき、正式に実行委員会が準備に入りますが、下記企画案にご意見・ご要望などございましたらお寄せ頂きますようお願い申し上げます。

「現代邦楽」その活動の原点となったのはNHKの放送であり、NHK邦楽技能者育成会もその流れの中心となる数多くの演奏家や演奏グループを生みました。その「現代邦楽」ブームの中心となって活動をされた演奏家・作曲家・研究家の皆様はもちろん、その土台となった「育成会」を生み55年に亘り継続させて下さったNHKのスタッフ・講師の方々の「熱い思いが伝えられる演奏会」にしたいと考えました。特別会員に名を連ねて頂いた方々や諸先輩のご協力を得ながら、当時の時代背景や流れを検証した上で、現代の状況を考慮に演奏スタイルや復刻なども含めて、今後の新しい流れを提案するものとなることを願うものです。そしてその趣旨に賛同頂き「演奏会はNHK/FMにて放送」という嬉しい内諾を、NHK音楽・伝統芸能番組部チーフプロデューサー早川竜彦氏(特別会員)より頂いております。内容に付きましてはまだまだ検討しなければならない課題も多いのですが、一人でも多くの方に係わって頂きたいと考えておりますので、実行委員やスタッフとしてご協力頂けるようでしたら事務局までご一報をお願い致します。秋には出演募集のご案内(次回会報発行時)が出来るよう準備を進めてまいります。進行状況は随時会報やWebページを通じてお知らせ致しますので、演奏会への出演はもちろんのこと、ご支援ご協力宜しくお願い申し上げます。 「現代邦楽の軌跡」(仮題) 実行委員会

< 企画案 >

- ◆タイトル : 現代邦楽の軌跡 —NHK邦楽技能者育成会の歴史と共に— (仮題)
- ◆日時 : 平成25年3月9日(土)
- ◆場所 : 渋谷区文化総合センター・さくらホール (渋谷区桜丘町2-21/03-3464-3251/定員:729席)
※開催会場は友淵のりえ氏(実行委員)のご尽力により仮押さえ頂きました。
- ◆料金 : 前売り/当日/会員/学生 (未定)
- ◆出演 : NHK邦楽技能者育成会同窓会会員
大合奏曲は希望者(定員有り)による出演、小編成曲の出演は推薦やオーディションなど選出方法を検討中です。
- ◆プログラム : 大合奏曲1~2曲、独奏曲~小編成曲4~5曲、全体としては6~7曲の構成 (未定)
年代を追って以下のような候補曲が挙がっておりますが、会員の皆様よりのご提案ご意見を参考にさせて頂きながら、音楽監督・監修の先生方のご協力を得て決定させて頂きます。
[大編成曲] : 和楽器のための合奏曲(小山清茂)・老狸(小野衛)・斑鳩の宮(中能島欣一)
無意味な序曲(藤井凡大)・子供の四季(長沢勝俊)・現代三番叟(杵屋正邦)
喜遊曲(牧野由多可)・・・他多数
[小編成曲] : 2面の箏のための音楽(入野義郎)・3面の箏のための3つのエスキス(清水情)・対話五題(諸井誠)
呼応(杵屋正邦)・風(牧野由多可)・邦楽器の為のトッカータ(安達元彦)・・・他多数
※ 上記は石川憲弘氏(実行委員)により候補に上げて頂きました候補曲の中から初期の作品のみの掲載です。
※ 候補曲や構成に関しましては、会員の皆様よりご提案やご意見をお待ちしております。
- ◆主催 : NHK邦楽技能者育成会同窓会
- ◆音楽監督 : 板倉康明(指揮者/50~55期講師)
- ◆監修 : 長廣比登志(現代邦楽研究家)・山川直治(邦楽研究家)・野川美穂子(日本音楽研究家)
- ◆企画 : 「現代邦楽の軌跡」(仮題) 実行委員会
草野妙子(音楽学者/特別会員)・秋岸寛久(作曲家/特別会員)・後藤すみ子(2期/実行委員長)
友淵のりえ(15期)・三橋貴風(17期)・菅原久仁義(22期)・田辺洌山(25期)・石川憲弘(26期)
山口連山(32期)・松本宏平(53期)・大山潤一(55期)
- ◆協賛/協力/後援/制作 (未定)

【育成会OB会発足に当たり】

藤本草 [特別会員理事]



昨年日本は未曾有の大震災に見舞われ、民俗芸能の宝庫東北の沿岸部には今もなおその傷跡が深く残されています。一方でその復旧復興が進む中、地域が育んできた伝承文化が何より日本人の原点であり、精神的な礎であることに気付かされる結果となりました。神楽、祭礼、民謡や舞踊、様々な芝居など、全国各地に残されたい数多の伝承は、今もなおその地に暮らす人々によって保存され演じられています。それらの伝承の中から生まれ、長い歴史のふるいによって選り分けられ、掬い取られ、育まれた芸能は、それぞれに高い芸術性を獲得し、民間による伝承の保存とはまったく異なる専門家＝プロフェッショナルな演奏家によって今日まで担われて来ました。

昭和30（1955）年に設立されたNHK邦楽技能者育成会は、明治以来の洋楽偏重教育に一石を投じ、さらに敗戦後の日本における伝統芸能の復興を願う時代の要請に応えた、邦楽演奏家＝プロフェッショナルの育成講座でした。平成14（02）年、伝統音楽が初めて文部科学省の指導要領に加えられ、全国の教育現場からその指導者を求める声が大きく上がっています。平成22（2010）年3月、第55期をもって育成会は終了しましたが、その意義と役割は今こそ必要とされ始めているのです。演奏家の責務は、誰もが感動しうる音楽を提供すること、そして次代の演奏家を育成することです。育成会の再興を願う有志各位の思いはこのふたつに集約されるのではないのでしょうか。今こそこの志を強く、より良い音楽の創造と日本の伝統文化の将来を担う後進の育成に共に取り組みたいと考えています。

【NHK邦楽技能者育成会同窓会事務局のご案内】

同窓会に関してのお問合せ、ご意見など何でもご連絡下さい。各ジャンルの担当に繋がります。なるべく、メールもしくはFAXにてご連絡いただくと助かります。よろしくお願い致します。

メール：furuya108@yahoo.co.jp

FAX：03-3635-0869

住所：〒130-0026 東京都墨田区両国3-25-9-304 古屋 方

TEL：03-3846-4447

【NHK邦楽技能者育成会同窓会会報編集局】

会報についてのご意見や寄稿、投稿はこちらまでお寄せください。

担当：山口賢治

住所：〒213-8580 神奈川県川崎市高津区久本2-3-1 洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所

電話：080-6570-5497 FAX：044-856-2937 E-mail：genhouken@senzoku.ac.jp

【ホームページ】

ページ内に設立総会（平成23年9月29日）議事録とNHK邦楽技能者育成会同窓会規約がアップしてあります。最新の情報は逐次、ホームページに掲載していきます。

現URL <http://www.nantara.com/ikusei/>



新URL <http://www.hougaku-ikuseikai.com> （※ 近日、新URLに変更予定）